

# 安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが ⑧

2020年4月30日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 ☎03-3221-4668

○黒川東京高検検事長の違法な定年延長抗議・辞職を求める抗議・要請する安倍首相あての「はがき」、「賛同署名」を急速に広げましょう。

**ネット署名(オンライン署名)は13万人を超えて急伸中！**

○検察庁法「改正」を含む国家公務員法等「改正」案の慎重審議・廃案に！ 松本衆院内閣委員長への「FAX要請」の取り組みを！拡散を！

(5月連休明けにも内閣委員会での審議が開始されようとしています。)

※「はがき」、「賛同署名」、「FAX要請の取り組み訴え」、「FAX要請の例文」、衆議院内閣委員会委員一覧(議員室、選挙区、FAX番号付)は全国市民アクションのホームページからダウンロードできます。

また「ネット署名」は同ホームページから入り、署名できます。

## コロナ対策抜本的に、直ちに！ とさくさまぎれの安倍改憲許すな！

### 総がかり行動 有楽町でスタンディング

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は4月19日、東京・有楽町・イトシア前で宣伝行動を行いました。新型コロナについての抜本的な対策を政府に求めるとともに、コロナに乗じた憲法審査会の開催をねらうなど改憲の動きにストップをと呼びかけました。用意した「安倍改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名」にも通行人3人が応じました。

55回目の予定であった国会前での「19日行動」は、コロナ感染拡大防止のため中止としましたが、宣伝・署名行動は短時間おこなったものです。

参加した60人が、横断幕を掲げ、思い思いのプラカードをもってスタンディング宣伝をする一方で、憲法共同センター、9条壊すな！実行委員会、全労協の代表らがハンドマイクで訴えました。

同実行委員会は、5月12日17時30分から、新宿駅西口で宣伝・署名行動を行う予定です。



(写真=しんぶん赤旗)

### 北海道「戦闘機爆買いやめてコロナ対策を」59回行動 江別9条実行委員会

江別市の江別憲法9条を考える実行委員会は4月19日、市内中心部の繁華街でス

タンディング宣伝を行いました。

同実行委員会は、安保安法制（戦争法）が強行されて（2015年9月）以降、毎月19日に行動を続け、今回が56回目のものです。

新しく作った「米国戦闘機の爆買いやめてコロナ対策へ」の横断幕や「補償の継続を」のボードを掲げました。

### **福島県「非常時に改憲？ とんでもない」白河共同センター**

**憲法を守る白河共同センター**は4月19日、白河市でスタンディング宣伝を行いました。行動では「戦争NO！9条守れ！大切な人を戦場に送らない」とした横断幕や手書きのポスターを掲げました。

「コロナ感染の収束に向け、みんなで力合わせなければならないときに安倍政権は改憲論議を押し進めようとしている」と訴えると、「コロナを口実にして改憲の動きとは、まったく何ということか。コロナへの初期対応の遅れやちぐはぐな対策は安倍政権の責任。休業補償や医療機関への支援など全力を尽くすべき課題はいっぱいある」と対話になりました。

### **新潟県 コロナ対策を口実の改憲策動NO！ 全国市民アクション@新潟**

**安倍9条改憲NO！全国市民アクション@新潟**は4月20日、新潟市の古町商店街で宣伝しました。新潟県平和運動センター、新社会党、新潟県九条の会、憲法センター・新日本婦人の会の代表らが訴えました。

弁士は、「休業・自粛要請と国をあげた補償が必要」、「医療現場の資材確保、医療・介護従事者のPCR検査は感染拡大防止に不可欠」、「安倍政権は人命より経済優先」、「非常事態宣言のもとで、言論制限はあってはならない。口にマスクはしても目や耳はしっかり社会に見開かないといけない」、「安倍政権は、ウイルスとのたたかいでスピードとボリューム（予算）をと求める国民の声に答えていない」、「兵器の爆買いをやめてコロナ対策に」、「コロナを利用した改憲策動は許されない」、「いまこそ憲法25条を生かし、政府が責任を果たすべき時」などと口々にアピールしました。

### **埼玉県 毎週金曜の行動に温かいまざし／浦和駅頭 戦争させない埼玉の会**

**戦争させない埼玉の会**が毎週金曜昼休みに取り組んでいる「希望のエリア・埼玉ステージ」が好評です。4月24日には浦和駅東口で行動。三線とカホン（南米発祥の打楽器）の音色をバックにハンドマイクとボードでコロナ問題、コロナに乗じた改憲の動きなどを市民に訴えました。

「今すぐほしい10万円」「自粛と補償はセット！」「医者・看護師を守ろう」などと書いたボードをじっとながめる人や、目をやりながら「まったく、安倍は何やってんだ！」と怒って通り過ぎる人もいました。何人もの人と対話が弾みました。

次回行動は5月8日（金）12時から浦和駅東口で予定しています。

（埼玉憲法会議 活動ニュース4月27日付から）

### **埼玉県 埼玉新聞憲法意見広告運動への応募 昨年比大幅に増**

**埼玉憲法会議と戦争させない！埼玉の会**は、毎年5月3日付埼玉新聞に憲法意見広告を載せる運動をおこなっています。紙面に「名前・団体名を」と意見広告の協力者を募ってきましたが、このほど締切った結果、今年の運動には、5002人の個人（一口500円）、1315の団体が応募しました。昨年比で440件の増という大きな前進となりました。

これは、安倍内閣と改憲勢力がコロナ対策の名で、「緊急事態」を憲法に書き込もうとするなど、どさくさに紛れてやろうとしている改憲策動への危機感や「今、自分にできる憲法運動」として自覚的に応えてもらえたものとみえています。

「名前は出せないが協力したい」と5000円のカンパ、夫婦でそれぞれ10口、一人で友人32人をまとめてくれた、「こんな時だからこそ9条を大切に」などのメッセージ付き、県外からもfacebookを見て応募、など多彩な協力が特徴です。

(埼玉憲法会議 活動ニュース 4月27日付から)

### **東京都 19日行動 毎月欠かさず5年 スタンディングで訴え 八王子アクション**

5年間毎月欠かさず行っている超党派集会の**八王子アクション**。4月のアクションは中止か実施かかなり迷いましたが、安倍政権の改憲への企てが「自粛されない」今、私たちの運動を自粛することはできない、平和の灯は消さないという意思の下、4月19日、八王子駅前前で2メートル間隔をとってスタンディング行動を取り組みました。

当日、50名もの市民が集まりました。

リレートークでは、元保健所で働いていた仲間から、保健所が減らされ、感染症対策へのお金が削られていった話がされ、緊急事態宣言を利用した火事場泥棒的改憲動向の危険性を述べた仲間もいました。10万円給付は声を上げ続けたから実現できた、こんな時だからこそ声を上げようと地元弁護士さんが訴えました。

近隣の立川市から来た仲間も連帯のあいさつをしました。

### **静岡県 戦争法廃止、安倍改憲反対の19日行動 戦争法廃止オールしずおか**

**戦争法廃止オールしずおかアクション**は4月19日、静岡市葵区でコロナ感染対策をはかりつつスタンディングを取り組み、戦争法廃止、安倍9条改憲反対を訴えました。行動では「ウソつき安倍政権即時退陣！」の横断幕や「9条壊すな！」のプラカードを掲げ宣伝しました。

### **愛知県 コロナへの抜本的対策求めてスタンディング 名古屋市天白の会**

名古屋市天白区で活動する**安倍9条改憲NO！憲法を活かす天白の会**は4月19日、地下鉄植田駅前前でスタンディングを行い、市民にアピールしました。

行動には12人が参加し、新型コロナウイルスへの抜本的対策を求めました。

手作りの「営業自粛は補償とセットで」「みんなで生きのびるために今すぐ10万円を」のポスターやタペストリーを掲げ、声を合わせて「商売休んだら生活できない」「政府の責任で医療機関へ最優先で防護資材を」などと訴えました。タペストリーは注目を浴び、「その通り」「安倍さんの対応は遅すぎる」などの声がかけられました。また書かれていた相談先の電話番号をスマホに撮って「相談してみる」という人もいました。

### **滋賀県 コロナ便乗改憲NO！ スタンディングで訴え 滋賀共同センター**

**憲法を守る滋賀共同センター**は4月20日、JR石山駅（大津市）前でスタンディング行動を取り組みました。行動には県労連や平和委員会などのメンバーが参加、「STOP 改憲発議」のプラカードを掲げ、訴えました。

山元大造県労連事務局長は、県労連の「コロナ何でも電話相談」によせられた深刻な実態を紹介し、「こんな時にアメリカからの莫大な兵器買いを続けるのか、国民に安心がいきわたる政策こそ必要ではないか」と訴えました。

## 京都府「安倍政権に声をあげよう！」とスピーチ動画で「19日共同行動」

京都憲法共同センター、戦争をさせない1000人委員会京都連絡会、市民アクション@きょうとは、定例の「19日行動」の共同の集会・デモをコロナ感染拡大防止でとりやめ、3団体の5人が行うスピーチを動画で配信する「19日行動」を行いました。

スピーチでは、「一律10万円給付にやっと踏み出したが、国の支援対策はあまりにも貧弱。こんな時こそ政治の力で大企業がため込んできた内部留保を活用させるべきだ」「安倍政権は本当に困っている人に手を差し伸べているか。自民党はこの期に及んで緊急事態を改憲の実験場にしようとしている」などと安倍政権に声をあげようと述べました。

## 大阪府 商店街入り口で「自粛と補償はセットで」と訴え 西淀川実行委員会

大阪市西淀川区の戦争あかん西淀川実行委員会は4月19日、JR塚本駅前の商店街入り口付近で、「自粛と補償はセットで」などの横断幕やポスターを掲げてスタンディングを行いました。同実行委員会は、この間続けてきたドラムデモを中止してスタンディングをおこなったものです。

19人が参加して口々に訴える中、「暮らしを守る制度や相談窓口」を紹介したチラシ入りのティッシュは用意した100個が短時間で受け取られました。

## 和歌山県「武器よりコロナ対策」70回目のランチタイムデモ 和歌山弁護士の会

憲法9条を守る和歌山弁護士の会は4月13日、32人が参加して「憲法破壊を許さないランチタイムデモ」を和歌山市内で行いました。デモ出発集会で訴えた藤井幹夫弁護士は、「武器よりコロナ対策」のプラカードを掲げ、「一番の安全保障は、軍事ではなく暮らしの安定だ」と強調し、安倍改憲を許すなど述べました。

毎月欠かさず6年間続けてきた昼デモは今回で70回目となりました。新型コロナウイルス感染対策で「サイレントデモ」となりました。

## 徳島県「抜本的なコロナ対策」「改憲策動やめよ」県内各地で 憲法共同センター

徳島憲法共同センターは、スタンディング行動などで、安倍政権にコロナ対策を抜本的に強めよ、安倍改憲策動をやめよなどの訴えを4月19日県内各地で行いました。

JR徳島駅前ではコロナ感染症拡大防止に配慮し、間隔をとってスタンディング。「自粛・休業をいうなら国が補償を」「給付金10万円いますぐほしい」「アベ政治を許さない」などのプラカードを掲げ、訴えました。

同センターは藍住町でも行動しました。

## 福岡県「コロナに便乗した改憲阻止」に反響 平和をあきらめない北九州ネット

平和をあきらめない北九州ネットは4月19日、JR小倉駅（北九州市）前で宣伝行動を取り組みました。「コロナに便乗した改憲阻止」などと書いたプラカードやのぼりを掲げアピールしました。行動には30人が参加しました。

リレートークでは、「安倍政権は、緊急事態を口実に改憲をねらっている」「憲法9条は手放してはならない」などと訴えが続きました。通りがかった人から、コロナの政府の対応について「安倍首相は信用できない」との声も出されました。